

2017年12月19日（訂正版）
横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会

横浜市民「市の緑地政策」に関心高まる

開発計画の賛否問う直接請求のための署名数 35,978 人

「横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会」（横浜市栄区）は、12月19日（火）横浜市政記者クラブに於いて、記者会見を行い、住民投票条例制定のための直接請求署名活動の結果について報告致しました。



（写真：Kenichi takenouchi）

「横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会」（略称：みどりみらい実行委員会）は、「横浜市栄区上郷町周辺の都市計画」の是非を問う住民投票の実施を目指し、9月15日から12月10日（衆議院選挙により一時中断期間あり）まで署名活動を実施しました。住民投票という直接請求制度を通して、横浜市民の関心を高め、声を市政に届けることが目的でしたが、署名数は、必要数に達していませんので、本請求はいたしません。

■ 署名数 35,978 人からの広がり

この活動を通じて、横浜市での緑の現状、緑政策や都市計画、瀬上沢地区の開発計画について、さらに関心を持ち、取り組みたいとする多くの方と出会うことができました。開発に端を発した小さな活動ですが、自発的に動いてくれる人は日に日に増えていきました。後半は自分たちが把握していない地域でも署名活動が行われているなど、2ヶ月間で受任者 4,809 人、スポット協力 121 箇所、市外の多岐にわたる協力者を含めると、自分たちの予想を超えた広がりがあり、署名数以上の人たちと、この活動をともにしました。この機運の高まりが横浜市民にとっての未来を考えるスタートであると考えています。

■ 活動継続 市民の声をもとに横浜市へ情報公開請求

2018年1月15日に都市計画審議会開催が確定しましたが、署名期間中に多くの市民から寄せられた問いについて、横浜市に情報開示請求しています。具体的には、「みどり税の使用用途・みどり政策」「事業者と

市との会話全記録」等です。私たちは、50 年後、ほんとうに財産となるものは何か、地権者の方関係する方と合意できる案がないか対話を引き続き求めています。代替案についても、今後、市民参加で専門家、事業者を交えて、もうひとつの案について、精度をあげていく必要があるとも思います。

■ 横浜市民 2000 人 緑地政策に関する意識調査の結果

- 横浜市緑地の現状より増やしてほしい、維持してほしいで 67.5%を占め、緑地開発を進めてほしいと思う人の 4.5%に比較して圧倒的多数。
- 「利便性とのバランスをとりながらであれば、緑地を徐々に減らすのは仕方がない」と考える人は 13.5%のみで、今回の瀬上沢の開発に事業者や横浜市が述べる「バランスのとれた開発」を支持する人も少数。
- 「瀬上沢の開発計画を承認すべきではない」26.8%が、「承認すべきだ」11.7%を上回るが、それよりも「瀬上沢の開発計画のプロセスを中断し、市民にその是非について問い直すべきだ」が 32.6%で多数。今回の住民投票を願う私たちの動きは、この方々の声をプロセスに反映したいという願い。
- この開発計画について住民投票があれば、「投票に行く」と答えた人は、「予定が合えば投票に行く」と合わせて 75.2%にもなる。
- 横浜市が瀬上沢の開発を進めた時に、「横浜みどり税を縮小、廃止すべき」と考える人は 43.6%にもものぼる。今後のみどり税のあり方にもつながる判断であることを横浜市にわかってほしい。

(* 別紙参照 : 調査期間 2018 年 12 月 15 日 ~ 18 日 / 楽天リサーチによるインターネット調査)



■ 活動の目的/背景

横浜市は、市最大の緑地の一つである上郷・瀬上沢の緑地の広範囲(10ha)の森を切り、谷を埋め立て、宅地やマンション・商業施設・医療施設等を建設する計画を、今年度内に最終決定する予定です。さらに市は、今年度の都市計画の変更により、それまでの平均 30ha/年の 20 倍になる、約 630ha もの広大な土地を市街化区域に編入しようとしています。「横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会」は、多種多様な職業や背景を持つ横浜市民が横浜の緑地を未来に残すために集まり、2017 年 7 月に立ち上がりました。瀬上沢の開発の是非について、市民と市政が今一度話し合い、より良い方法を模索する必要があると思案します。

■ 本件に関するお問い合わせ先

横浜のみどりを未来につなぐ実行委員会

所在地 : 〒234-0054 横浜市港南区港南台 9-30-31 角田様方

公式ウェブサイト : <http://livegreenyokohama.com/>

連絡先 : info.yokohamamidori@gmail.com

担当 : 鶴巻拓、安田晃浩